

## ～ 秋のふれあい・オズ・フェスティバル2014 ～

芸術の秋に路上ライブの「ジャズフェス」と地元の児童が参加した「親子ハロウィン」を連続開催。前年の約3倍の集客があり、名古屋市内外の潜在顧客層の誘引に成功した。いずれも市内の団体や大学生等を巻き込み、地域一体となった連携で成果を上げている。

所在地：愛知県名古屋市北区大曽根2-9-25  
TEL：052-981-1024 FAX：052-981-1113  
URL：<http://ozmall.ciao.jp/>  
組合員数：34名  
商店街の類型：地域型商店街

## 商店街の概要と事業を実施した背景

名鉄、JR、地下鉄の3線が交差する大曽根駅から西へ伸びる道路沿いに位置する商店街。昭和38年に全蓋アーケードの商店街として発足の後、平成元年にアーケードを撤去。オープンモールの商業空間と三角屋根の個性的な街並みで統一された商店街（通称：OZモール）に生まれ変わった。周辺の再開発地域にはマンション建設が進み、住民は増えているが、隣接する大型商業施設に顧客を奪われ、来街者は減少傾向にある。大曽根駅から東へ約1kmにあるナゴヤドームの入場者の取り込みも、商店街との間にある大企業の広い敷地や道路等が障害となって、動線をつくるのが難しい状況にある。こうした中、商店街では話題性のあるイベントによって、地域の住民や地域外からの新規顧客を呼び込みたいと考えている。

## 実施した事業の概要

## ①ジャズフェス2014 in OZ 平成26年10月12日

ジャズ業界に詳しい組合員を委員長に、名古屋市内のジャズ演奏家、ライブハウス、ジャズファンの大学生を加えた実行委員会を組織。前年に続き街区内でジャズの路上ライブを実施した。今回はキッチンカーの増車や屋台の増設による飲食と音楽関連のフリーマーケットが加わり、回遊性の向上とともに賑わいが増した。広報面では、街中に「JAZZの街OZモール」のタペストリーを掲示して雰囲気演出。12時30分に19人編成のジャズオーケストラのオープニング演奏で始まり、その後は60名を超えるミュージシャンが街区内の路上6ヶ所で6時間ぶっ通しのライブを行い、市内ではかつてない催しと評判になった。

## ②親子ハロウィン in OZ 平成26年10月26日

参加店の中から5店舗を回ってスタンプを集め、受付でアンケートに回答するとお菓子がもらえるイベント。婦人部が主体となり、市民団体やNPOと連携。子どもが大好きな方を募集し、ボランティアとして参加者の誘導、受付、交通整理等イベント運営全般に協力してもらった。また、周辺の自治会等にはチラシやポスターで案内を行い、定員を上回る288名が参加し、子どもと地域のふれあいイベントとして成功を収めた。併せて愛知県北警察署と共同での「チビっ子交通防犯教室」のほか、東日本大震災で水産被害を受けた北海道二海郡八雲町への支援募金も行った。



## 成果と成功の要因

「ジャズフェス」では、広域からの来訪者や、地域の新規居住者を商店街に誘引することに成功。話題性のあるイベントで幅広い層を取り込み、商店街の認知度向上とJAZZの街大曽根のイメージ定着につなげた。

また、続けて「親子ハロウィン」を開催したことで、今まで商店街と接点がなかった層や関心の薄かった層にもアプローチができ、近隣及び名古屋市内外の広範囲から昨年の3倍ほどの幅広い層の来街者が得られ、商店街に大変な賑わいが生まれた。



## 今後の取り組み

今後の課題は、来場者の再来街をいかに促し、固定客化していくかにある。これからも地域と一体となったイベントを継続し、幅広い客層を取り込むとともに、アンケートの結果をもとに内容の改善を図り、商店街への誘導策を強化していきたいと考えている。また、今回の事業を通じて協力が得られた名古屋市民経済局、市民団体、NPO等との連携を維持することにより、内容の充実を図っていく。

資金の手当てについては、組合員からの賦課金のほか、行政からの補助金の活用等も検討する予定である。